

解析学 講義ノート

数学 太郎

2025 年 12 月 02 日

目次

1 サンプルチャプター	3
1.1 定理環境と参照	3
1.2 補題と系	3

1 サンプルチャプター

このテンプレートの使用例を示す。

1.1 定理環境と参照

まずは基本的な定理を記述する。ラベル(<thm1>) を付与することで参照が可能になる。

Definition 1.1.1 (素晴らしい定義)

Typst は高速でモダンな組版システムである。特に数式の記述が容易である。

Definition 1.1.1に基づき、以下の定理が成り立つ。

Theorem 1.1.2 (主要な定理)

任意のユーザーに対して、Typst による執筆体験 E は単調増加する。

$$\frac{dE}{dt} > 0 \quad (1.1.3)$$

Proof. 式 Equation (1.1.3)より明らかである。また、Theorem 1.1.2 は自明であるため証明を省略する。□

1.2 補題と系

Lemma 1.2.1 (準備的な補題)

Markdown ライクな記法は学習コストを下げる。

Corollary 1.2.2

したがって、レポート作成時間は短縮される。